

押し Point

『差別と日本人（角川書店）』

野中広務 / 辛淑玉』

差別される側の目線で書かれた「実態」

- 「野中氏は、地元に戻たら部落の人だ」
- 「死ぬほど辛がたのではなく、死ぬるほど辛がた。本当は生きたがたのだから」

日本人が持つ心の闇に
どう向き合うべきか??

おかし
な話?